

育成研修での受講生・講師・担当者の声

平成 26～29 年度に実施した育成研修について、受講生等から感想・意見をいただいていますので、参考にしてください。

【受講生からの声】

- ・ 架線経験が少ない人への配慮をしてくれて受講しやすかった。
- ・ 基本的な知識で、忘れていた内容（法令等）もあったので良い復習になった。
- ・ 技術マニュアルの講義で、架線技術の再確認ができて良かった。
- ・ 架線系作業システムの全体像をおさらいでき、マネジメントの部分も系統立てて学べた。
- ・ 今後、自分で考えて索張りをすることが楽しみに感じられるような研修であった。
- ・ スリングと台付ロープの違いがよく分かり、半差しの方法を正確に覚えることができた。
- ・ ワイヤロープを繋いだり、アイスプライスを作ったりする場合は、規定の回数を差し込むことと、丁寧な作業で出来上がりが綺麗になる様にすることが安全につながると思った。
- ・ 安全性や生産性を考えた作業計画・架線計画の必要性と、作業員への周知の大切さが改めてよくわかった。
- ・ 先柱と元柱の位置、アンカーやガイラインの角度のポイントが現地での指導でよく分かった。特に尾根付近でのアンカーは、位置によって強度が大きく変わることが分かった。
- ・ 現場での踏査の大切さを改めて感じた。作業前の準備等の重要性、基本の大切さ等を学ぶことができ、基本を学ぶことによって応用もでき、より安全性の確保につながるなど、多くを学ぶことができた。
- ・ 勘と経験だけで索張りする時代は終わっていると痛感した。これからは設計計算に取り組みたいと思った。
- ・ ワイヤロープの強度を知った上で、実際に現場で使うワイヤロープの太さを決めることや支柱にかかる張力を理解することは安全な作業につながると思った。
- ・ サドルブロック等の取付け作業は、普段から「まあ、こんなもんだろう」ではなく、しっかりと正しい作業方法で行わないといけないと思った。
- ・ 安全作業についての認識や効率の良い作業方法など、他所の会社の人と情報交換ができた。
- ・ 疑問点や分からないこと等その都度聞きながらできたのが良かった。
- ・ 架線計画、設計計算のやり方を学べたことが一番良かったです。
- ・ 架線集材現場見学によって様々な問題点、改善策を検討することができた。
- ・ 架線現場は他社と自社との違い、良い面、悪い面又は工夫など見学できて良かった。
- ・ 当て木の落ちないやり方、台付けロープやシャックルの使い方が良く分かりました。

【講師からの声】

- ・ 架線経験が少ない受講生が多かった為、実習に時間がかかったけれども、受講生にとってはいい経験ができたと思う。
- ・ 架線計画での机上と現地の違いが分かり良かった。
- ・ 架線集材現場の見学は、良い所、悪い所と見る所がいろいろとあったので、受講生にとっては良い勉強になったと思われる。
- ・ 受講生は、今回の研修を受け、今まで自分の会社で正しいと思っていたワイヤロープ加工や支柱作設方法等について、間違いに気付くことができ、有意義な研修であったと思う。
- ・ 次世代に技術を伝えて行くためには大変参考になる研修と感じた。
- ・ ポイントを絞っての内容だったので、大切な事を覚えてもらえたと思います。

【都道府県担当者からの声】

- ・ 林業架線作業主任者の資格を持ちながら実務経験が少ない受講者にとって、免許内容を思い出す有意義な研修となった。
- ・ 森林作業道の研修よりも準備する資機材が少なく、フォレスト・サーベイがしっかり運営していただき助かった。
- ・ 今回の研修については事前打合せをしていただいた為、研修の準備等がスムーズにできた。
- ・ フォレスト・サーベイの事務局と講師が主体的に実施されたので、担当者の負担、不安は少なかった。
- ・ どのような場所が見学場所として適当であるのか悩んだが、本年度研修の実施内容を見たことで、カリキュラムの趣旨を理解することができた。
- ・ 実例や現場での計画実習、他事業体の架設現場など、研修生の視点や考え方など、一つではない架設方法に対して、多方面から見る視点が研修生に養えたと思われる。
- ・ 今後も架線と作業道を組み合わせた作業システムを高度に構築するためにこのような研修は継続して実施すべきと思われます。
- ・ 現場に精通した講師の指導が具体的で分かりやすく、受講生には非常に有益な内容であったと思う。